

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成19年7月25日

施設名	高知県立月見山こどもの森	所管課室	自然共生課
-----	--------------	------	-------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成18年8月1日～平成21年3月31日
施設所在地	香南市香我美町岸本、香南市夜須町坪井(管理事務所:香南市香我美町岸本1269-7)		
事業内容	<p>1. 月見山こどもの森の行為及び利用の許可等、取消し等その他の許可に関すること</p> <p>2. 月見山こどもの森の施設、設備等の維持管理に関すること</p> <p>3. 月見山こどもの森の設置目的を達成するための活用事業の企画及び運営に関すること 設置目的:自然の中での野外活動を通じ、児童、生徒等の健全な心身の育成を図ること</p> <p>4. 月見山こどもの森の利用促進に関すること</p> <p><主な利用目的等></p> <p>アスレチック、展望台、ツリーハウス、すべり山、桜等の花見、自然を楽しむ</p> <p>アスレチック等の遊びの指導及びクラフトの指導</p> <p>木工教室、クラフト教室等のイベントの実施</p> <p>「出前森林教室」を学校等へ出向き実施</p>		
施設内容	<p><概要> 月見山こどもの森は、郷土の雄大な自然の中で、子どもたちが自由に遊んだり、ふだん学校や家庭で得ることのできないものを体験し、たくましく、心豊かに育つことを願い、昭和54年の国際児童年を記念して月見山に、昭和55年10月に開設された。</p> <p><敷地面積> 約20.8ha</p> <p><主なゾーン> 史跡の森・集いの森・花木の森・わんぱくの森・自然の森</p> <p><主要建物等> こどもの森ハウス(管理事務所)、駐車場4ヶ所 約150台、展望休憩所、休憩所、炊事棟、便所5棟</p> <p><主な施設・設備> アスレチックコース(木製遊具25基)、ツリーハウス(3基)、グリーンアドベンチャーコース(40種類の樹木名の看板)、すべり山、キャンプ場(テントサイトのみ)、芝生1,500㎡、木製すべり台(長さ18m)、展望台、ミニ8ヶ所巡りコース</p> <p><開園時間> 午前8時30分～午後5時15分</p> <p><休園日> 12月29日～1月3日</p> <p><利用料金> 無料</p> <p><キャンプ場利用料金> 無料</p> <p><ハウス使用料> 無料</p> <p><イベント参加料金> 材料代(実費額相当)を徴収する場合がある</p>		
職員体制	非常勤職員:2人 合計:2人(但し、臨時職員の雇用を、イベント開催等の人員体制確保時のみ行っている。)		

2 収支の状況

18年度県支出金のうち3,558,000円は香南市からの収入財源である。

19年度県支出金のうち3,558,000円(見込額)は香南市からの収入財源である。

単位:円

		17年度(決算)	18年度(H18.8-19.3)(決算)	19年度(予算)
収入	県支出金	4,136,000	5,007,000	7,411,000
	参加料収入等	-	186,800	261,000
	香我美町支出金、夜須町支出金	4,136,000	-	-
	収入計 (a)	8,272,000	5,193,800	7,672,000
支出	事業費	280,994	173,720	261,000
	管理費及び事務費	1,722,695	706,738	1,515,000
	人件費	6,268,311	3,886,841	5,866,000
	支出計 (b)	8,272,000	4,767,299	7,642,000

3 利用状況

	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(目標)
年間利用者数(単位:人)	23,136	27,146	30,000
利用者意見等の反映	<p>・利用する前に連絡を受けた場合(主に団体) 団体代表者に事前に利用案内等をご覧頂いて、団体が施設の利用時の種目などのご要望や人数等の予定を確認し、打合わせを行い、円滑に実施できるように努めている。</p> <p>・自由に来園された場合 職員が入園直後の初めての利用者に、施設等の説明を行っている。</p> <p>・「出前森林教室」開催の場合 職員の日程が調整できる場合は、できるだけ要請に応えさせて頂いている。</p> <p>団体の方達が施設利用・教室を利用し、実施後に皆さんのご意見をお聞きして、事後の運営に反映している。 今後は文書によるアンケートも実施していく考えである。</p>		
その他特記事項	どこに住む県民も自然体験が平等に行えるシステム作りに努力したいと考えている。		

4 平成18年度業務評価

項目	評価できる取組等	改善すべき課題
適正な管理運営の確保	<p>・施設、遊具等の設備の維持管理、警備、巡視、点検、利用指導等の安全対策は優れた管理が行われている。</p> <p>・緊急時対策、防犯、防災対策などの危機管理体制は、適正に実施されている。</p> <p>・施設の管理運営、活用事業等のイベント対応にあたる人員配置は利用者数や内容に合わせて、合理的に体制が確立されている。</p> <p>・ボランティアの協力体制が管理運営面で確立している。また、ボランティアの能力向上のためにクラフトのリーダー研修、危機管理研修などを行っている。</p> <p>・利用者の要望を確認する等の利用前のニーズ把握を十分に行い、利用者ニーズに応える適正な管理運営体制が確立されている。</p>	
利用者サービスの維持向上	<p>・地域の自治体、団体やボランティアと連携を図り、地元活用事業の共催や管理運営業務に協力関係を築いている。</p> <p>・利用者の要望を確認する等の利用前のニーズ把握を十分に行い、利用者ニーズに応えた適正な対応が行われている。</p> <p>・イベントの内容により、各種マスコミの利用や地元団体、教育機関へのチラシ配布等の適切な広報活動を行っている。</p> <p>・出前森林教室の要請など利用者ニーズに対応した事業が職員の調整、努力で実施している。</p> <p>・活用事業の実施は適切に行われている。60回 参加者 1,511名 さらに活用事業の工夫、内容の充実を行ってほしい。</p>	・地元広報誌への掲載依頼を行い、月見山こどもの森の楽しさを地域に大いに周知してほしい。
利用実績	<p>・平成17年度利用者数と比較すると入園者は増加している。</p> <p>・特に、アスレティック利用者が著しく増加している。</p>	
収支の状況	・限られた予算、人員の中で、職員の適正な配置、職員の努力とボランティアとの協力体制確立等により、経費を節減するための取組みが行われ、適正に管理運営が実施されていた。	
総合評価	A	<p>・仕様書、事業計画書に基づき、優れた管理運営業務が行われていた。利用者の生命を守るため危機管理体制の強化を図ることを要望する。</p> <p>・地域の自治体、団体及びボランティアとの連携を行い協力体制が確立し、地元活性化につながる優れた管理運営が行われたと認められる。なお、ボランティアとの連携がさらに強化すること、地域の施設利用促進などを期待する。</p> <p>・利用者のニーズの把握と対応、一番大切な全ての利用者に対しての配慮のある適切な対応は、利用者サービス維持向上、利用者数の増加、リピーターの増加につながる取組みとして、優れた管理運営であると評価できる。</p>

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの